

鹿島小学校生徒が定置網体験を行いました

令和4年12月5日

北薩地域振興局林務水産課薩摩川内市上甕駐在

薩摩川内市立鹿島小学校で、令和4年12月3日（土）に定置網体験が実施されました。

同小学校は、平成7年度に「ウミネコ留学制度」（都市部の小中学生が親元を離れて漁村の里親宅で生活する漁村留学制度）を設けて平成8年度から生徒を受け入れており、現在も約10名がこの制度を利用しています。

今回はウミネコ留学生や里親等17名が参加しました。

定置網体験に先立ち、甕島漁協鹿島支所の小村昌平青年漁業士が、定置網漁業の特徴や網や仕掛けの構造等を説明。その後生徒たちは定置網の網上げ作業を見学しました。網を絞ると、キハダマグロやカンパチ（ネイゴ）、ハガツオなどの姿が見えると生徒たちは歓声を上げて喜んでいました。

